



福島県鉄工機械工業協同組合
経営研究委員会

組合会報 22号 発行日平成20年1月15日



新年の御挨拶

福島県鉄工機械工業協同組合
理事長 藤橋進一郎

組合員の皆様、新年あけましておめでとうございます。
平成20年を、新たな気持ちで迎えられた事と存じます。
昨年は、鉄工組合創立60周年と言う大きな節目の年を組合員の皆様は下より多くの方々のお力添えにより盛大に執り行う事が出来ました事に改めて感謝申し上げます。
さて、新しい年を迎えたこれからの国内外の社会、経済、環境情勢は厳しく多くの問題を取り残す形でのスタートとなったのではないのでしょうか！

昨年の参議院選では民主党の勝利により政局は混乱を呈し安部総理の辞意表明により福田康夫総理の誕生となりましたが、インド洋での給油活動の問題、厚生労働省での薬害C型肝炎或いは社会保険庁の年金記録漏れ、そして食品偽装問題など限りなく極悪非道の道を歩んで居る様な気が致します。
また、国内では新潟中越沖地震により、柏崎刈羽原発の安全神話は結果として厳しいものとなりました。

この様に、国に対する国民の信頼は薄れ少子高齢化社会を迎える今日、地方や会社規模に於いても格差社会を生み出し国民は段々生きるすべを見失って来ている様に思われます。
新しい年を迎え悲観的な事ばかり申し述べましたが、今年からは意を新たにして地方都市として活力ある農業、商工業全てのものに官民学一体となって活性化して行く事が重要と考えます。
社会やマスコミの風潮に囚われる事なく「自己責任」「自己管理」において小さな事から、矢祭町の様に町民あるいは市民が意識改革を積み上げていく事が大きなファクターとなると考えます。
組合も皆様方一人一人の能力を組織として(技能、技術、管理、情報)蓄積して、次世代へ繋げていく事も今後の課題として考えております。

今年も、組合員の皆様の健康と会社の御隆盛をお祈り申し上げます。
最後に以前、組合員でありました本宮の斎藤工作所社長斎藤 昭一 様が20年程前に会社を閉鎖して、昭和23年第一回福島県書道展入選をかわきりに、篆刻刻字部門で今日まで多くの国内外の展覧会に出品し、その作品の数々は力作揃いで、入賞を獲得されて居られます。過日「第二回斎藤 清鶴 篆刻・刻字展」をお開きになり、素晴らしい作品の中から「温故而知新」(古い物事を調べ、そこから新しい知識や見解を引き出す事)の大きな額入りの篆刻刻字を寄贈して戴きました。

有難くお受けして、組合事務所に飾らせて戴き、この刻字のもつ意味を理解しながら、組合運営に努めたいと思います。



工場見学会実施報告特集

平成19年10月30日（火）山形県村山市 京浜パネル工業(株)山形工場見学会を実施致しました。
参加者数は、25名でした。

参加者各位の感想をダイジェストで掲載致しました。

1. 見学先について 回答数 11社

良かった。 8社 80%

- ・ 整理・整頓の徹底（5S）
- ・ トヨタの看板方式・セル方式の導入

普通 2社 18%

期待はずれ 1社 2%

- ・ あまりに整頓されすぎて指摘するところがなかった。

2. 感想

- ・ 作業10分前の終業10分前の整理整頓の徹底。
- ・ ISO取得を目指し社員一丸となった取り組みに、気合を感じた。
- ・ 常に短納期を自覚し、スピーディな対応に感心した。
- ・ 各人が多能工として通用するための教育及び指導の徹底。（頻繁に他の部署への移動が図られていること。）
- ・ 不具合の対処方法に特徴があり、毎朝朝礼で「私から不良を出しません」と公言することによって意識の高揚が図れていること。
- ・ トップによる社内パトロールの実施。問題点・改善点の洗い出し、問題点のベターな方法を探り向上を図る努力を続けていること。

4. 次回の見学先の希望

- ・ 他分野の企業
- ・ 機械部品から組立まで一貫した工場
- ・ ISO取得を目指し取り組みを開始した企業
- ・ 溶接を主にしている企業
- ・ 栃木・茨城方面の企業



組合創立60周年記念旅行の実施

親善委員長 鈴木巖

平成19年11月23・24・25日の2泊3日の日程で、「沖縄離島めぐりの旅」を実施。総勢44名の参加がありました。出掛ける前日の大雪に戸惑い、福島空港到着。厚手のコートを脱ぎ捨て身軽ないでたちで飛行機に乗り込みました。那覇空港到着、空気が違う、通路にはクーラーが入って花々が咲き「夏」そのもの。石垣島行きの飛行機に乗り込み1時間で到着。とにかく海の色が違う。コバルト色の海が見渡せるバナ岳展望台へ。近隣の島々を展望し、石垣港から高速ジェット船に~~~~ドンドンと波を切り、船底からお尻にすごい衝撃を受けながら、西表大原港到着。バスに揺られて本日の宿「ニラカナイ」へ。南国情緒漂う素敵な各部屋・そしてオーシャンビュー1日目の懇親会 それぞれに交流を深め、大いに飲み・食べ・歓談し、和やかに夜が更けていきました。夜明けが遅く、満月が海に沈む光景を見て感激しました。

2日・3日目の行程

西表島観光へ。

の砂を探しに、砂浜に手の平を押し付けてわいわい童心に帰って・・・



水牛車に乗込み海を渡って由布島へ

周囲2キロの植物園の島・亜熱帯植物が繁り常夏の楽園を満喫・・・

ボートに乗り換え仲間川探検ヤエヤマヤシ・マングローブの原生林へ

日本最大のサキシマスオウノキを見物

フェリーで小浜島へ

小浜島観光 ドラマ「ちゅらさん」のロケ現場「こはぐら荘」や、のどかなサトウキビ畑の中(シュガーロード)をバスに揺られて・・・

竹富島観光へ八重山地方の昔ながらの家並みが続く伝統建造物の中を散策グラスボートにて大珊瑚礁遊覧、熱帯魚の群れに感嘆の声を上げフェリーで小浜島へ2日「ヴィラハピラ・パナ」コテージ風リゾートホテル バリのリゾートを想わせるアジアンテイストの部屋・野生の孔雀が庭に遊び 豊かな自然の恵み溢れる小浜島でした。



バイキングの宴会は、延々と4時間超にも達し、泡盛・オリオンビール・トロピカルジュースで大いに盛り上がり楽しい交流の場になりました。

小浜島からフェリーで石垣島へ~~~~~

石垣島で最も美しい川平湾へ 雨がしとしと降り始め、やっとのことで記念撮影を済ませた頃から本降りになり八重山民族館では園内の説明や民族舞踊の披露を見物。

伝統工芸品みんさー織りのみね屋では、女性陣が見事な織物工芸品を買い求める光景が目立ちました。

昼食を郷土食の島豆腐で満喫。最終ショッピングに時間を費やしました。有意義な記念旅行となりましたことをご報告致します。



組合員紹介

(有) 佐々木スチール工業代表取締役 佐々木堅吾氏

昭和43年に先代の社長、佐々木貞次郎氏により創立され、平成18年2月に堅吾氏が後を継いで代表取締役社長に就任。お客様の要望に敏速に対応し、妥協しない製品を作ることがモットーだそうです。

労働基準監督署よりクレーン製造許可（吊り上げ加重102トン）を取得し、クレーン製作業務に忙しい毎日のようです。

社長さんの余暇の過ごし方は双子の子供達と一緒に居ることとおっしゃる、良きパパのようですが、趣味はサーフィンとスノーボードと活動的な一面もお持ちです。

社長さんから一言・・・「平成18年2月に代表取締役に就任いたしました。若輩者ですが宜しくお願いいたします。」

y.y



青年部活動報告

7月20日	定例会	組合2F会議室
8月5日	夏季家族親睦会	猪苗代湖畔
9月8日	暑気払い	CRUISE(置賜町)
9月21日	定例会	組合2F会議室
11月16日	定例会	組合2F会議室
12月1日	会員事業所見学会	(株)佐藤機械工業
12月7日	定例会、忘年会	御宿(置賜町)
20年1月11日	定例会	組合2F会議室

会員事業所見学会・・・・・・・・(株)佐藤機械工業

佐藤慶行社長にご案内していただき、会員12名で見学してきました。スリッパで歩けるほど綺麗な工場内は、整理整頓が徹底され、機械や材料等が効率的なレイアウトになっていて、とても生産性の高い工場だと思いました。

質疑応答の時間には社長就任直後のご苦労話や失敗談なども伺いましたが、それより気に留まったのは、現状に満足することなく、最新の工作機械の導入や設備投資への積極的な取り組みをされ、生産の効率化、省力化を図り、さらに上へ上へと向かっていく佐藤社長の意気込みでした。

新規加入組合員

平成19年10月18日の理事会において加入承認されました。

(有)佐藤マシン製作所

代表取締役 佐藤常雄

〒960-0677 伊達市保原町字早稲田22-2

TEL024-575-5241 FAX024-575-1859

平成19年12月17日の理事会において加入承認されました。

(有)佐藤精機

代表取締役 佐藤浩二

〒960-0687 伊達市保原町字旭町16

TEL024-576-4002 FAX024-576-4161

新年会開催予告

平成20年2月1日(金) 18:00~ ホテル辰巳屋において 会費8,000円

組合員多数のご出席をよろしくお願い致します。

福島県鉄工機械工業協同組合 URL [Http://www.tekkou.or.jp](http://www.tekkou.or.jp) Email mail@tekkou.or.jp
〒960-8057 福島市笹木野字南中谷地21-4 TEL 024-558-8011 FAX 024-558-8013